

2013年3月12日

日本民教連代表者会

第2回子ども・教育・憲法を守る合同集会 の企画

日本民教連・都道府県民教、日本民教連九条の会

日時：2013年6月16(日) 13時～16時

場所：未定 ラパスホール (東京労働会館)

講演 ① 高嶋伸欣 さん (琉球大学名誉教授)

テーマ「安倍政権下の教育再生の問題点と我々の取り組み」

※教育再生実行会議が目指している「教育改革」の動向

※今、社会状況に抵抗して頑張っている取り組み

② 中山康夫 さん

(ナザレ幼稚園 野外活動研究所【森の幼稚園】所長・野あそびのプロ集団「ろぜっとわーくす」代表)

※被災地支援「自然物プレゼント作戦」活動を通した、「子どもからの発信を受け止めて」 南相馬市保育園レポート

※今、子どもたちが自然を体験し、野原で遊ぶ大切さを

主催：日本民教連・都道府県民教、日本民教連九条の会、日本子どもを守る会

担当者：高柴光男、金子 眞、上石正明

加盟団体

会長・委員長・民教連担当者・事務局長 各位

2013年3月12日

「世話人補充」のお願い

日本民間教育研究団体連絡会世話人会

貴会におかれましては、日々、独自の運動を展開中のことと存じます。

さて、日本民教連は、加盟団体担当者による代表者会と、世話人会とによって運営されています。

その世話人会の構成メンバーが、健康上の理由により、例会に結集できない状態が続いております。

今、民教連は、隔月発行の「民教連ニュース」の企画や原稿収集、校正等も、ニュース編集担当者だけでは手不足で、他の世話人メンバーのサポートにより、辛うじて発行を維持できているといっても過言ではありません。

そこで各加盟団体にお願いがございます。

貴会では、積年の運動を継続するために、それぞれ独自の事情がおりかと存じますが、「民教連の世話人補充」について、貴会の理事会・常任委員会等でご検討いただけませんか。そして、できましたら、世話人会を補充していただけるようご支援をお願い致します。

諸事ご多忙中、誠に恐縮ですが、ぜひとも、貴会において、「民教連世話人補充の件」についてご検討を賜りたく、文書にて要請いたします。

重要

加盟各団体 事務局長・民教連担当者様

夏期集会一覽表作成についてご協力お願い

二〇一三年二月一九日

日本民教連

例年のように、今年も「民教連ニュース」五月号に各団体夏期集会一覽表を掲載し、多くの人々のお役に立てるようと存じます。ついては、ご多忙中恐縮ですが、左の要領にて原稿をお寄せ下さいますようお願いいたします。

★原稿用紙の規格に基づいてお書き下さい。ワープロ・パソコンの場合もこれに準じて下さい。原稿の内容は誤りなきよう、特に電話番号を間違えると、無関係の方に大変迷惑をかけます。ご注意下さい。

★締切 三月二十八日(木) ★掲載料二〇〇〇円。現金を直接お渡し下さるか、郵便振替でお願いいたします。現金を普通郵便に入れるのは事故の元、おやめ下さい。

★送り先 〒一七〇一〇〇五 東京都豊島区南大塚二一七七一〇 日本民教連 TEL〇三―三九四七―五二二六 FAX〇三―五三一九―三六四六

振り替え〇〇一六〇・五・一三四〇八四 日本民間教育研究団体連絡会

団体名	日時・場所	大会テーマ・講演・分科会など主な内容
4字	5字	35字

16 字	参加費・宿泊費・申し込み問い合わせ先等

「体罰に対する私たちの見解」を表明します

2013年1月26日
学校体育研究同志会全国常任委員会

私たちは、大阪市立桜宮高校の運動部員の死を重く受けとめ、ここに私たちの見解を表明し、会以外の方ともこの問題を考え、体罰の根絶に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

1. 体罰は暴力であり、教育においても、スポーツにおいても相容れない行為です。体罰問題の本質は、体罰を助長し、容認する組織と社会にあり、そこへの徹底的な解明が是非とも必要です。
2. 部活動はスポーツなどの文化創造に参加する教育活動の一部です。したがって、部活動が生徒の自主的運営、主体的参加による活動となること、指導者の指導計画は柔軟かつ双方向的であることがのぞまれます。部活動の組織体制と民主的運営が維持されなければならないと考えます。
3. 運動部における技術指導はさらなる研究・開発が必要です。この指導においても合理的で知性的であらねばならず、個性と共同性が発揮されるように努めなければなりません。それは「コート上」の指導のみならず、ベンチワークにおいても、日常の練習においても貫らぬかれていなければなりません。
4. 部活動は、顧問教師の勤務時間外の奉仕的指導に支えられてきました。学校教育において部活動を実施していくのであれば、人材確保、研修制度の確立、時間外手当の支給などの経費の公的負担を講じていくべきです。
5. スポーツ基本法に則り、体罰が教育条件の不備や学校経営のゆがみに起因することはないか、子どもの利益という一致点で指導者も保護者も連携をはかっていくことが大切だと考えます。
6. 部活動における成果主義が学校間競争や人事考課に用いられ、学校管理職と部活指導者を勝利至上主義へと駆り立て体罰を誘発・黙認させています。いまこそ「教育改革」の歪みをただし、じっくりと時間をかけ、部員と向きあっている部活環境を整えていかなければなりません。
7. 各競技団体は独自の選手養成システムを立ち上げなければなりません。チャンピオンスポーツと学校スポーツは両者の独自の意義を自覚して峻別されるべきだと考えます。教育活動の一環としての部活動はその教育の原点に立ち返っていかなければならないと考えます。
8. 人間のからだの能力と美しさを実感し、自然と調和し、偏見と差別を廃し、人間的自由と平等を拡大していくなかでスポーツは人類の貴重な共通文化となりました。そうしたスポーツに対する見方を広め、深めていくマスコミ・ジャーナリズムの社会的役割を發揮することがのぞまれます。これを機に、あらゆる機会を通じて体罰を根絶する具体的な行動を起こすことが大切だと考えます。

ご案内

スポーツ界から「暴力指導」の根絶を〜決意を示し、改革への共同を呼びかける“つどい”

あいつぐ学校のスポーツ部活動での暴力と体罰、そして尊い命を絶つ悲惨。選手生命を賭してパワーハラスメントを告発した15人の女子柔道の選手たち。いま、スポーツ界に根深い暴力体質の現実と向き合い、その根絶をめざす決意を示し、心ひとつにして立ち向かうときです。

この事態と問題を深刻に受けとめて、当該する学校の教師・保護者・卒業生などが立ち上がり、実績を持った少なからぬスポーツ人や関係者が憂慮し、「暴力・体罰反対」の発言を発しています。さらに、スポーツ団体、教育団体、体育・スポーツ研究団体、法曹界、労働界など各分野から「暴力根絶」の声明や決議が広がっています。

スポーツが人格の形成と各人の能力の発達をうながし、健康で文化的な生活に欠くことのできない権利であることを確信し、その実現と発展にむけた活動に力を注いでいる私たちは、暴力・体罰は人権を蹂躞し、スポーツをゆがめ、社会の進歩とはまったく相いれない蛮行であることを、きびしく指弾し排除するものです。

スポーツ界から暴力指導をなくし、教育と科学と人権尊重にしっかりと依拠した指導を確立することは、この分野に在るすべての人びとに提起されている課題であり、その解決と改革にむけて広く連帯し、語り合い、探求し、行動することが求められています。私たちはこの共同行動の第一歩を踏み出そうとの思いから、『スポーツ界から「暴力指導」の根絶を〜決意を示し、改革への共同をよびかけるつどい』を開催することにしました。多くの方々の参加を希望しています。

「つどい」呼びかけ人一同（アイウエオ順）

石川正士（元法政二高体育教師）、伊藤高弘（H・P・S＝健康・体育・スポーツ＝ネットワーク世話人）、川口智久（スポーツ九条の会世話人）、田中新治郎（学校体育研究同志会全国常任委員長）、永井博（新日本スポーツ連盟会長）、広畑成志（オリンピック研究者）、舟久子（全国養護教諭サークル協議会全国事務局）、正木健雄（子どものからだと心・連絡会議顧問）、望月浩一郎（弁護士・日本スポーツ法学会会員）、山崎健（現代スポーツ研究会代表幹事）

記

○催し『スポーツ界から「暴力指導」の根絶を〜決意を示し、改革の共同を呼びかける“つどい”』

○日時 3月30日（土）午後1時～午後5時

○会場 武蔵野美術大学新宿サテライト（新宿センタービル9階）

○参加費 1000円（資料・通信費等）

○内容

- | | |
|-------------|-----------------------|
| ① あいさつ | 伊藤高弘 |
| ② 意見交流 | 「暴力指導根絶とスポーツ改革の課題を探る」 |
| ③ 「共同のよびかけ」 | 正木健雄 |

○連絡先 秋本信孝（H・P・Sネットワーク事務局）

akmt18herbst@yahoo.co.jp

築田陽子（学校体育研究同志会事務局） y.y.yana345@w3.dion.ne.jp

